

矢作（二又）地区まちづくり総合計画・地区別計画

目標１．二又の風景・景観づくりの視点から二又独自の産業振興を進める

分野	取組項目等		内容	備考	
農業の振興	農地の豊かな風景を育む 新たな農業の推進	農地の営農継続による 地区景観の保全・継承	①農地所有者の意向把握 ②小さな農地を地区で管理・営農していく仕組みづくりと人材の確保		
		幹線道路沿いの 農地を活用した 沿道景観づくり		①幹線道路沿いの景観作物づくり（地域に適した景観作物・花卉の試行栽培） ②幹線道路沿いでの直売所づくり（景観作物と地域の各種特産品販売） ③外部人材との連携（若手アーティストと連携・協働したアート作品による沿道景観づくりや直売所づくりなど）	沿道の空き家活用
		新規就農希望者を受け止める 仕組みづくり	①就農希望者のお試し農作業のための貸出農地制度（オーナー制など）の検討 ②就農希望者支援のための体制の検討（ノウハウ指導、農機のあっせん、新規作目の検討など）		
豊かな水と 風景を育む 「千年の 森づくり」	山の風景を育む活動の推進	林業の再構築	①私有山林、特に里山の森林管理方法の検討と管理体制づくり（自伐型林業などの森林環境保全型の管理の展開・外部人材を含む管理作業の担い手の確保） ②旧財産区（市有林）の伐採時期を迎えた樹木の活用のための仕組みづくり ③林業の再構築を支える環境条件の充実（作業道の修復整備・作業機器の拡充など）	補助金等の活用検討	
		水を育む森づくりの検討	①広葉樹林への変移を着実に進める「千年の森づくり」推進の仕組みと体制づくり（会員制やファンクラブ、大学生との連携など、外部人材を巻き込む仕組みと受止めの体制づくり） ②地区内、市内の子ども達との環境学習としての森づくりへの参加の推進		
	豊かな水と山の風景に支えられる「隠れ里の魅力」を活かした観光交流活動の推進	地域資源を活かした 観光交流プログラムの作成と提供	①矢作川（支流の生出川を含む）の活用による観光交流プログラムづくり（アユ釣り・川遊びなど） ②森の魅力を活かした観光交流プログラムづくり（千年の森づくり体験・研修など） ③民泊や教育旅行、合宿等の受入れプログラムづくり		
		隠れ里の 観光交流拠点づくり		①旧矢作小学校の拠点化に向けた活用方法の検討（校舎利用又は跡地活用として） ②空き家・空き施設・旧矢作小学校等の既存ストックを活用した観光交流活動や宿泊機能の充実（観光センター、地場産業組合事務所の配置など）	
		観光資源を活かした地域の魅力づくり	 散策ルートの 遊歩道化	①白糸の滝、大滝、小滝、閑薫院、仙婆岩、紅葉スポットなどの観光スポットとその場所にまつわる伝説や由来を加えた観光資源の活用（矢作あやめ園との連携） ②歴史資源の発掘、再評価 ③各観光資源をつなぐ散策ルートの遊歩道化、資源周辺の駐車場の整備	
		隠れ里の特産品の展開	①千年の森が生み出す恵みによる6次産業化につながる特産品の育成（山菜やキノコ・ジビエ・アユに加えて新産品の開発を含む） ②豊かな集落景観が生み出す米・野菜・花卉などの「隠れ里ブランド」化 ③農林業における害獣対策の強化とともにジビエとしての活用の検討		
二又地区総がかりの産業振興の体制づくり （二又地区のかつての歴史に学ぶ・養蚕業における組合化）			①二又地区独自の産業振興を推進していくため、「（仮称）二又産業振興組合」の設立の検討 ②全ての地場産業の連携と新たな産業振興を切り開く人材の確保（地元人材と外部人材） ③木質バイオマスの活用を中心としたローカルエネルギーシステムの検討 ④観光交流プログラムの総合的なコーディネート、受入れ窓口機能の検討 ⑤草刈りなどの地区全体の環境管理作業の地区総がかり体制の仕組みづくり	地域おこし協力隊など外部人材の受入れ・活用検討	

目標２．人が集まる場と機会を創出して安心と活気のある暮らしを創る

分野	取組項目等		内容	備考
旧矢作中学校を福祉と交流の生活拠点に	医療・福祉機能の誘導		①二又診療所と二又サロンを合わせた福祉拠点の形成 ②デイサービスや介護サービスなど、福祉的な利用の検討 ③冬季における一人暮らし高齢者のためのグループホームの検討	
	憩いの場の創出		①地域住民が交流できる場の創出（イベントや祭り等ができる広場など） ②多様な交流機会の創出（活用プログラム・イベントなど）	
	活用に向けた住民による検討		①利用・活用について、地域住民で幅広く検討する機会の創出 ②利活用を支える体制づくり ③草刈りなど、旧小中学校敷地の管理の仕組みづくり	
	拠点へのアクセス道路や駐車場の整備		①旧矢作中学校の活用のため、アクセス道路や駐車場の整備	
矢作地区コミュニティセンターの拠点機能強化			①矢作地区コミュニティセンターの低地移転による拠点機能強化の検討	
既存ストックを活用した地域の賑わい拠点づくり	「医師住宅」「二又診療所」の活用で住民活動・交流拠点づくり（旧矢作中学校の活用と連動）		①上記旧矢作中学校の活用に向けた住民の検討に際しての総合的な検討 ②外部の人の知恵やネットワークの活用の検討（観光交流活動の中からの人材の活用）	
	旧矢作食堂を活用した賑わいの拠点づくり		①設備等を活かした飲食系の賑わい拠点づくり ②地区運営による住民参加型の飲食店経営の検討（ワンディシェフ～日替わり店長～など）	
	空き家活用の仕組みづくり		①地区内の空き家の実態調査の実施（空き家形態や所有者意向など） ②移住希望者などへの紹介やリフォームの仕組みの検討	

目標３．二又の暮らしを守り、支える生活基盤の充実

分野	取組項目等		内容	備考
安全で便利な道路体系の確立	広域交通や地域を支える広域幹線道路の強化		①一関方面の交通利便性の改善（新笹ノ田トンネルの整備促進） ②冬季凍結対策の強化（除雪、融雪など）	
	各集落を結び広域に連絡する幹線道路の整備・強化		① 国道３４３号の道路機能の改善・強化（カーブの改善、冠水防止、草刈り、歩道整備など） ②県道飯森線の改良整備・改善 ③冬季凍結対策の強化（除雪、融雪など）	
	地区内主要道路の強化（避難動線を含む）		①旧道の機能強化（拡幅・歩道整備など） ②その他地区内道路の整備・機能強化 ③二又橋周辺の工事の早期完了	
暮らしを支える公共交通の充実	バス等の公共交通の利便性向上		①利用目的ごとのニーズに応じたバスサービスの検討（地区内の巡回、病院・福祉施設、買物などに対応したサービスシステムとその運行体制の検討） ②ＢＲＴの利便性向上（二又地区への延伸） ③ＪＲ大船渡線跡地をＢＲＴ専用道として、気仙沼ルートを整備することを要望（ＢＲＴ駅新規設置を含む）	
安全な水道水の供給			①上水未供給地区での安全な水道水の供給（８区・１１区・１５区・１６区など）	
災害対策の強化	河川水害対策の強化		①河川改修・河川沿いの対策整備（大雨・大雪対策） ②土石流対策としての砂防ダムの砂利上げ、立ち木伐採など	
	道路沿いの土砂災害対策の強化		①土砂災害対策（土砂災害危険区域になっている） ②通行止めの場合の補助道路などの整備対策	